

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日
東

上場会社名 株式会社リーガルコーポレーション 上場取引所
 コード番号 7938 URL <http://www.regal.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 幸次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 安田 直人 (TEL) 047-304-7084
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	26,213	△3.3	1,788	△22.1	1,820	△27.2	1,328	18.3
26年3月期第3四半期	27,097	2.3	2,296	14.0	2,502	3.9	1,123	△31.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,443百万円(△38.8%) 26年3月期第3四半期 2,359百万円(34.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	42.10	41.82
26年3月期第3四半期	36.94	36.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	29,765	13,865	46.2
26年3月期	30,163	12,674	41.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 13,742百万円 26年3月期 12,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△4.0	2,250	△29.7	2,250	△33.6	1,500	△6.1	47.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	32,500,000株	26年3月期	32,500,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	933,126株	26年3月期	931,469株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	31,567,755株	26年3月期3Q	30,419,544株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策の推進により緩やかな景気回復基調が続いているものの、円安による輸入原材料価格の上昇や、消費税率引上げによる消費マインドの冷え込みが長期化していることなどにより、先行きは不透明な状況にあります。

靴業界におきましては、消費税率引上げや天候不順等の影響に加え、原材料価格の高騰も相まって、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、製造小売業として企画・製造・販売の各部門が連携して顧客ニーズに対応した商品開発や売場提案、店舗開発等を行い、新たなマーケットを創造して行くことを重点課題とし、更に海外からの調達コスト抑制施策にも取り組んでまいりました。消費税率引上げ後も主力であるビジネスシューズは堅調に推移いたしました。しかしながら、婦人靴全般および季節商材につきましては、天候不順の影響や対象顧客の消費に対する意識、購買行動の変化等により低調に推移いたしました結果、売上高、営業利益ともに前年実績を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績としましては、売上高は 26,213百万円（前年同四半期比 3.3%減）、営業利益は 1,788百万円（前年同四半期比 22.1%減）、経常利益は 1,820百万円（前年同四半期比 27.2%減）となりました。四半期純利益におきましては 1,328百万円（前年同四半期比 18.3%増）の計上となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(靴小売事業)

靴小売事業では、店舗業態ごとの需要期における販促企画や顧客ニーズの変化に対応した店舗開発、またカジュアル・コンフォート商品や高付加価値ビジネスシューズの品揃えを充実させるなどの各種施策により売上の拡大に努めました。

業態別では、「シューズストリート（ネット通販）」、および「シェットランドフォックス店」が好調に推移いたしました。

商品・アイテム別では、春先から引き続き主力ブランドである「リーガル」のビジネスシューズは堅調に推移いたしました。しかしながら、婦人靴全般および季節商材につきましては、シーズン先取り購入の動向が鈍かったことや天候不順の影響等もあり、低調に推移いたしました。また、消費税率引上げ後の影響は、都市圏の店舗につきましては、付加価値の高いビジネスシューズを中心に復調傾向にありますが、一方で地方店舗につきましては、依然として消費マインドは回復しておらず、地域格差が鮮明になってきております。

当第3四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、「リーガルシューズa.k.aらばーと和泉店」（大阪府）など計4店舗を出店し、不採算店舗計7店舗を閉店するなど店舗運営の効率化を図りました。（直営小売店の店舗数 131店舗、前年同四半期末比3店舗減）

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 12,207百万円（前年同四半期比 2.9%減）、営業利益は 686百万円（前年同四半期比 27.0%減）となりました。

(靴卸売事業)

靴卸売事業では、店頭売上を重視した営業活動を推進し、顧客ニーズに対応した競争力と付加価値の高い商品提案に注力するとともに、業態ごとのオリジナルアイテムの開発や売場提案を行い、取引先に対し当社商品による囲い込み施策等を展開いたしました。

紳士靴は、消費税率引上げに伴う個人消費の低迷などにより、販売足数の減少はあったものの、主力ブランドである「リーガル」のビジネスシューズを中心に品質や付加価値の高い機能商品の動向が堅調で、商品単価は上昇傾向にあります。

また、品質にこだわった上級ブランドである「シェットランドフォックス」や値ごろ感のある「ケンフォード」のビジネスシューズにつきましては、その品質と価格のバランスが市場に浸透、評価され好調に推移いたしました。

婦人靴は、防水性、防寒性、防滑性等付加価値の高い一部の商品カテゴリーは好調に推移いたしました。一般的には、サンダル、ブーツ等季節商材のシーズン先取り購入の動向が鈍く、全国的な天候不順の影響やファッショントレンドが、スポーツテイストのシューズへとシフトする動きがみられたことなどにより、低調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 13,814百万円（前年同四半期比 3.9%減）、営業利益は 1,118百万円（前年同四半期比 17.5%減）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない不動産賃貸料の収入など、その他事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は 294百万円（前年同四半期比 15.2%増）、営業損失は 32百万円（前年同四半期営業損失 16百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、29,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ 397百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加 1,169百万円、商品及び製品の増加 183百万円、投資有価証券の増加 162百万円、受取手形及び売掛金の減少 1,151百万円、流動資産その他の減少 722百万円などによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、15,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,588百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少 264百万円、未払法人税等の減少 701百万円、賞与引当金の減少 266百万円、移転関連損失引当金の減少 221百万円、流動負債その他の減少 152百万円などによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、13,865百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,191百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加 1,077百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月15日付決算短信で発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務時間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が46百万円増加し、利益剰余金が30百万円減少しております。なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,343	5,513
受取手形及び売掛金	6,769	5,618
電子記録債権	92	135
商品及び製品	6,145	6,328
仕掛品	233	232
原材料及び貯蔵品	580	598
その他	2,158	1,435
貸倒引当金	△295	△295
流動資産合計	20,029	19,568
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,290	2,290
その他(純額)	2,343	2,456
有形固定資産合計	4,634	4,747
無形固定資産		
のれん	3	1
電話加入権	25	25
ソフトウェア	3	0
その他	1	6
無形固定資産合計	34	33
投資その他の資産		
投資有価証券	2,935	3,098
敷金及び保証金	1,346	1,179
その他	1,377	1,332
貸倒引当金	△193	△193
投資その他の資産合計	5,465	5,416
固定資産合計	10,134	10,197
資産合計	30,163	29,765

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,411	4,147
短期借入金	4,106	4,270
未払法人税等	807	106
賞与引当金	503	237
役員賞与引当金	35	26
ポイント引当金	478	488
店舗閉鎖損失引当金	1	-
移転関連損失引当金	221	-
その他	2,042	1,890
流動負債合計	12,608	11,166
固定負債		
長期借入金	657	558
退職給付に係る負債	2,902	2,846
資産除去債務	188	192
その他	1,132	1,135
固定負債合計	4,880	4,733
負債合計	17,488	15,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,355	5,355
資本剰余金	743	743
利益剰余金	4,793	5,870
自己株式	△193	△194
株主資本合計	10,697	11,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,245	1,336
土地再評価差額金	454	454
為替換算調整勘定	70	133
退職給付に係る調整累計額	85	42
その他の包括利益累計額合計	1,856	1,968
新株予約権	40	40
少数株主持分	80	82
純資産合計	12,674	13,865
負債純資産合計	30,163	29,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	27,097	26,213
売上原価	14,369	14,177
売上総利益	12,727	12,035
販売費及び一般管理費	10,431	10,247
営業利益	2,296	1,788
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	24	52
持分法による投資利益	163	-
物品売却益	23	26
雑収入	77	28
営業外収益合計	301	121
営業外費用		
支払利息	57	44
持分法による投資損失	-	9
売上割引	32	30
雑支出	6	4
営業外費用合計	95	88
経常利益	2,502	1,820
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
移転関連損失引当金戻入額	-	217
固定資産売却益	-	4
特別利益合計	-	222
特別損失		
固定資産除却損	33	0
投資有価証券売却損	118	-
デリバティブ評価損	172	0
持分変動損失	247	-
特別損失合計	572	0
税金等調整前四半期純利益	1,930	2,041
法人税、住民税及び事業税	713	559
法人税等調整額	95	153
法人税等合計	808	712
少数株主損益調整前四半期純利益	1,121	1,329
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	0
四半期純利益	1,123	1,328

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,121	1,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,147	90
為替換算調整勘定	71	65
退職給付に係る調整額	—	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	20	—
その他の包括利益合計	1,238	113
四半期包括利益	2,359	1,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,351	1,440
少数株主に係る四半期包括利益	8	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,574	14,374	26,948	148	27,097	—	27,097
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	107	107	△107	—
計	12,574	14,374	26,948	256	27,204	△107	27,097
セグメント利益又は セグメント損失(△)	939	1,354	2,294	△16	2,278	17	2,296

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,207	13,814	26,021	191	26,213	—	26,213
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	103	103	△103	—
計	12,207	13,814	26,021	294	26,316	△103	26,213
セグメント利益又は セグメント損失(△)	686	1,118	1,804	△32	1,772	15	1,788

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。